

伊倉小学校
学校だより

笑顔満開 伊倉つ子

R7.3.4
第12号
文責
坂本一博

SNSの正しい使い方等について

二月二十日（木）に開催しました授業参観・

教育講演会・PTA総会・学級懇談会は大変お世話になりました。

教育講演会では、玉名警察署生活安全課の方に表題のタイトルでお話をいただきました。スマホや携帯電話、インターネットをめぐって、子ども達の間に様々な問題が起っています。LINEやSNSを使ってのいじめやトラブル、不適切なサイトへのアクセスなど数多くの事例を目にします。また、ユーチューブ等の動画を長時間視聴することで

夢の実現に向けて

日本全国の小学校にグローブを寄贈してくれた大谷翔平選手の活躍は皆さんご存知の通りです。なぜ、グローブ寄贈か、そこにはきっと子どもに大きな夢をもつてもらいたいという願いが込められているのではないかと思います。夢をもつことがエネルギーになり、そして達成に向けて行動する原動力となります。大谷選手も高校時代に、夢の達成に向けて自分を見つめ、「目標シート」を作成していました。野球に関することはもちろん、「あいさつ」「ゴミ拾い」「審判への態度」等のように、自分が生きる上で大切にしたいことも書かれていました。そして、次のように言葉が紹介されています。

「人生が夢をつくるんじゃない　夢が人生をつくるんだ。」

私たち大人には、これから未来を担う子どもたちが大きな夢を抱き、そこに邁進していくよう、支えるという役割があります。子どもたちが自分の夢に向かって新年度、再スタートできるよう、この時期に準備をしつかりさせたいと思います。



【寄贈していただいたグローブ】

健康への影響が心配される状況もあります。これらの問題は数年前までは中高生で目立っていた問題でした。しかし、スマホ等を持つている小学生の数が増えています。音楽プレイヤーや携帯用ゲーム機でインターネットにつなぐことができるから、小学生にとっても大きな問題となります。二月の調査【表参考】では、本校でも多くの子どもが自由にインターネット等を活用できる状況にあります。保護者の

内 容	割 合
自由に使えるスマホ・携帯電話がある	55.9% (49.1%)
自由に使えるネットにつながる機器がある。	79.5% (77.7%)

【全学年,上段：本校,下段：R5県】

皆様にもこの問題に関しては様々な意見があるのではないかでしょうか。「小中学生にスマホは持たせるべきではない。」「法律でなんらかの規制をかけるべきだ。」「買い与える前に、親子でルールを話し合つておくべきだ。」「これから情報社会でこれらの機器を避けでは、通れない。安全に使えるような指導を考えるべきだ。」などなど…。これらの道具は、使い方で便利なものにも危険なものにもなり得ます。スマホなどが便利な道具になるよう、きちんととした情報モラルを子ども達に身に付けさせていかなければいけないと改めて思いました。三月は、進学・進級を控え新たにスマホ等を持つ子どもが増える時期です。是非、持たせる場合には、親子で使い方についてしつかり話し合つていただきますようお願いします。

二月のあれこれ

- 四日（火）は新入生体験入学でした。二十三人の新入予定児童がお兄さんお姉さんになる一年生や五年生と楽しく活動しました。
- 七日（金）は読み聞かせが、十四日（金）は丸付けボランティアが本年度最後でした。多くの保護者・地域の皆様方に大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 十七日（月）には四年生「つなしの会（十歳を祝う会）」が伊倉町女性の会の皆様のご支援を得て実施しました。当日は助産師の方のお話しを聞いたり、紅白饅頭をいたしました。ありがとうございました。